

2023年3月期 第1四半期 決算説明資料

第99期：第1四半期累計期間
(2022年4月1日～2022年6月30日)

2022年7月27日

太平洋工業株式会社

1. 第1四半期業績
2. 2022年度通期予想
3. 今後の取組み

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 1Q 連結業績



自動車生産減により販売物量は減少、円安進行による為替差で売上・四半期純利益は過去最高

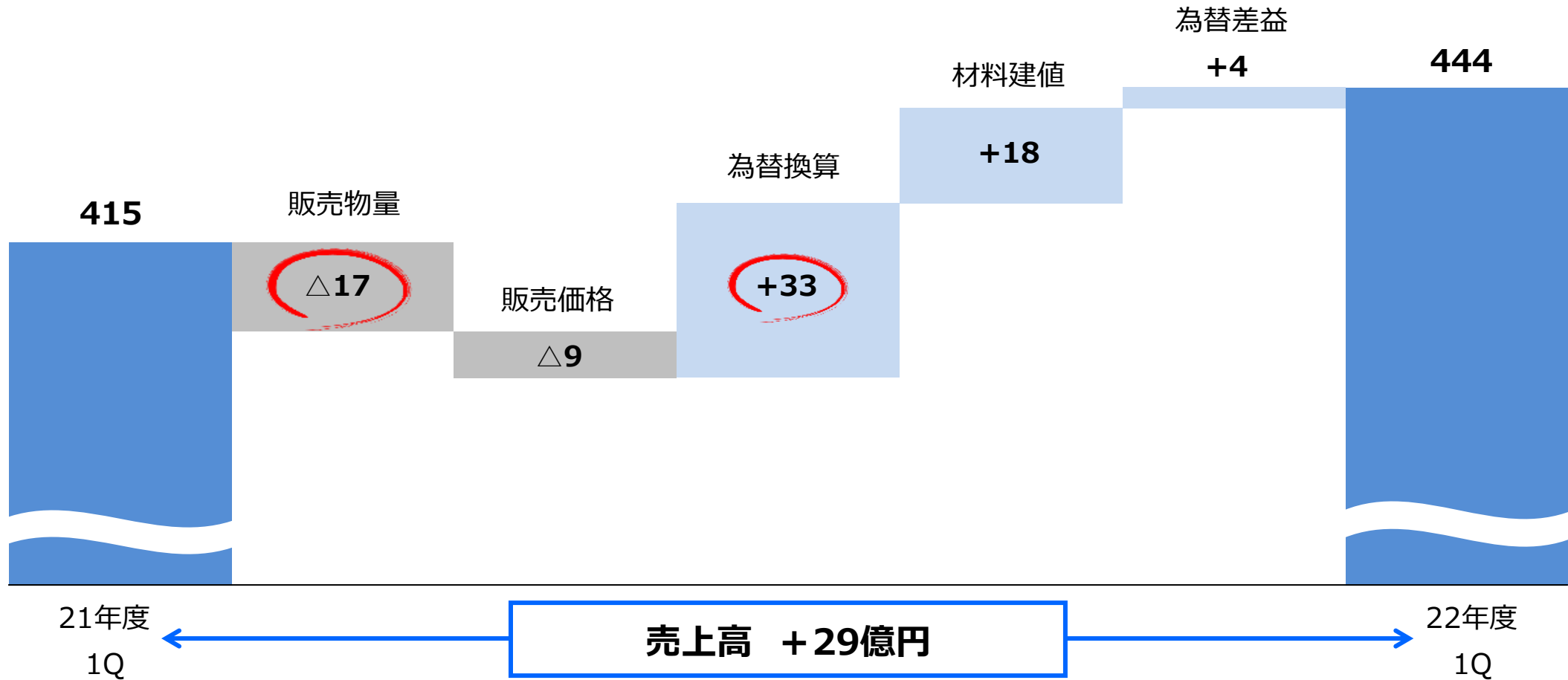
(億円、%)

	2021年度 1Q実績	2022年度 1Q実績		前年同期比	
		過去最高		増減	増減率
売上高	415	過去最高	444	+29	+7.1
営業利益	33		16	△16	△50.6
営業利益率	8.1%		3.7%	△4.4P	-
経常利益	38		38	△0	△0.8
経常利益率	9.4%		8.7%	△0.7P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	28	過去最高	29	+0	+0.7
四半期純利益率	7.0%		6.5%	△0.5P	-
平均為替レート (米ドル)	109.9円		125.9円	+16.0円	-

1-2 1Q 連結売上高 増減要因

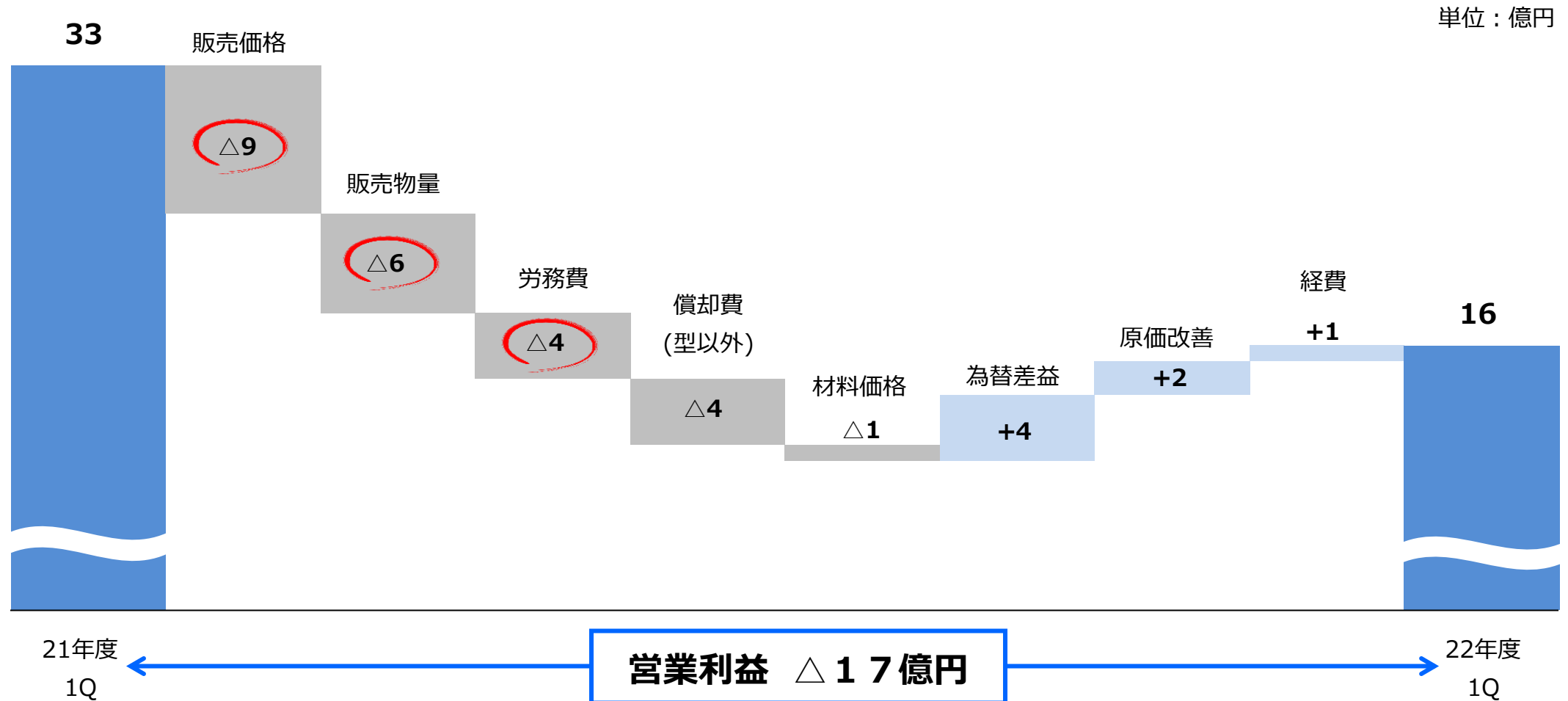
減産により物量減少するも、円安により売上高は1Qとして過去最高

単位: 億円



1-3 1Q 連結営業利益 増減要因

収益改善取組みは継続するも、物量減・生産変動に伴う労務費影響により減益



1-4 1Q 連結事業別セグメント



プレス・樹脂、バルブともに為替差により増収、生産変動・エネルギー・材料高によるコストアップで減益

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	21/1Q 実績	22/1Q 実績	増減	増減率	21/1Q 実績	22/1Q 実績	増減	増減率
プレス・樹脂	283	310	+26	+9.5	15	4	△10	△70.1
営業利益率					5.4%	1.5%	△3.9P	
バルブ	131	133	+2	+1.7	18	11	△6	△36.8
営業利益率					14.2%	8.8%	△5.4P	

1-5 1Q 連結地域別セグメント



日本は生産台数減少により減収・減益、欧米・アジアは増収・減益

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	21/1Q 実績	22/1Q 実績	前年同期比 増減	前年同期比 増減率	21/1Q 実績	22/1Q 実績	前年同期比 増減	前年同期比 増減率
日本	175	162	△13	△7.6	18	8	△10	△56.3
営業利益率					10.6%	5.0%	△5.6P	
欧米	161	183	+22	+13.7	6	1	△4	△74.9
営業利益率					4.1%	0.9%	△3.2P	
アジア	77	98	+20	+26.6	8	7	△0	△11.9
営業利益率					10.7%	7.4%	△3.3P	

1. 第1四半期業績
- 2. 2022年度通期予想**
3. 今後の取組み

2-1 通期 連結業績予想



1Q実績と外部環境変化を踏まえ、業績予想を修正

(億円、%)

	2021年度	2022年度		前期比		4/27発表値比	
	通期 実績	通期予想		通期		通期	
		4/27発表	今回見直し	増減	増減率	増減	増減率
売上高	1,644	1,780	1,780	+135	8.2%	+0	0.0%
営業利益	107	125	105	△2	△2.4%	△20	△16.0%
営業利益率	6.5%	7.0%	5.9%	△0.6P	—	△1.1P	—
経常利益	146	140	135	△11	△7.6%	△5	△3.6%
当期純利益	98	100	95	△3	△3.1%	△5	△5.0%
ROE	8.1%	7.5%	7.0%	△1.1P	—	△0.5P	—
ROA(営業利益ベース)	4.6%	5.0%	4.2%	△0.4P	—	△0.8P	—
一株当り純資産	2,138円	2,254円	2,370円	232円	10.9%	116円	5.1%
平均為替レート(米ドル)	112.1円	120.0円	129.0円	16.9円	—	9.0円	—

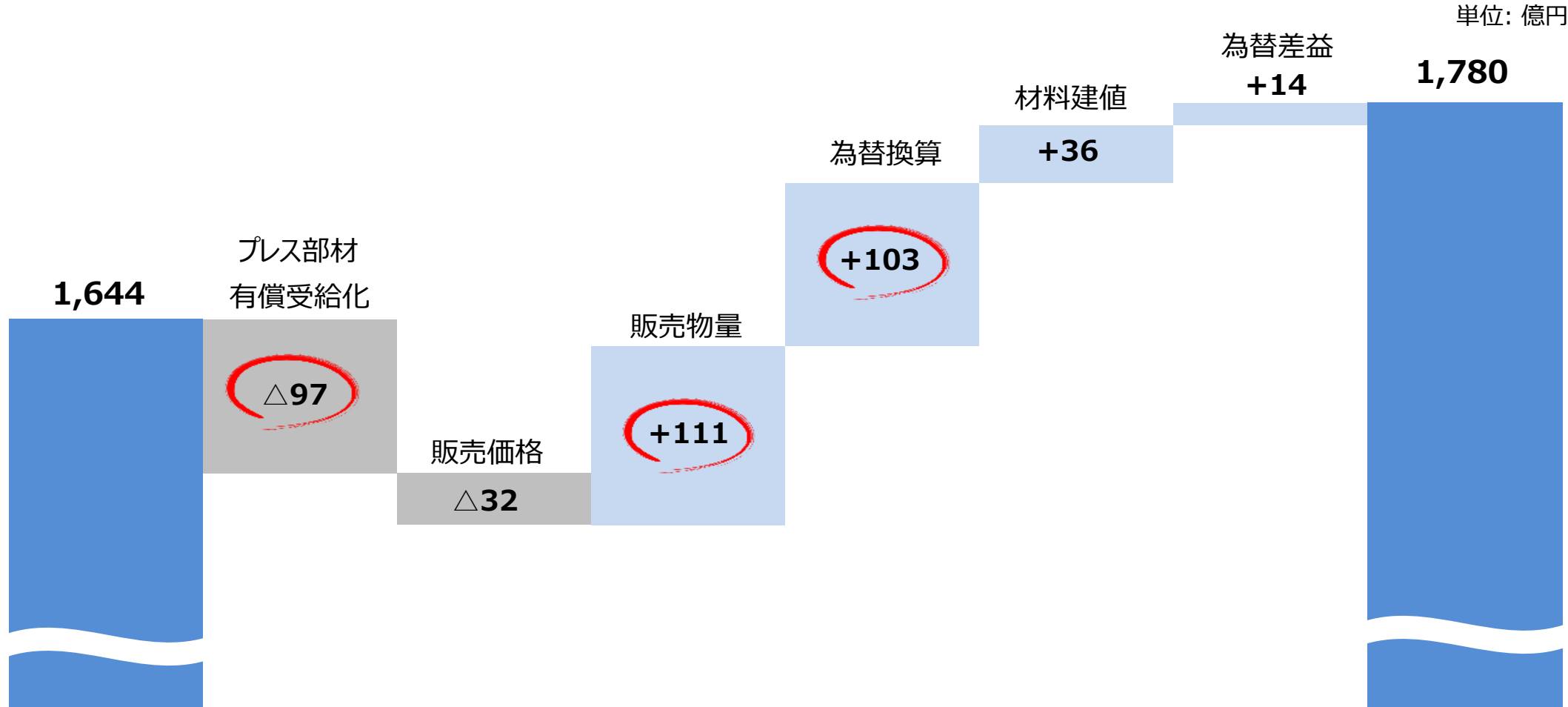
※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益です。

2-2 通期 連結売上高 増減要因



販売物量増加と円安影響により増収を見込む

単位: 億円



21年度 ←

売上高 +135億円

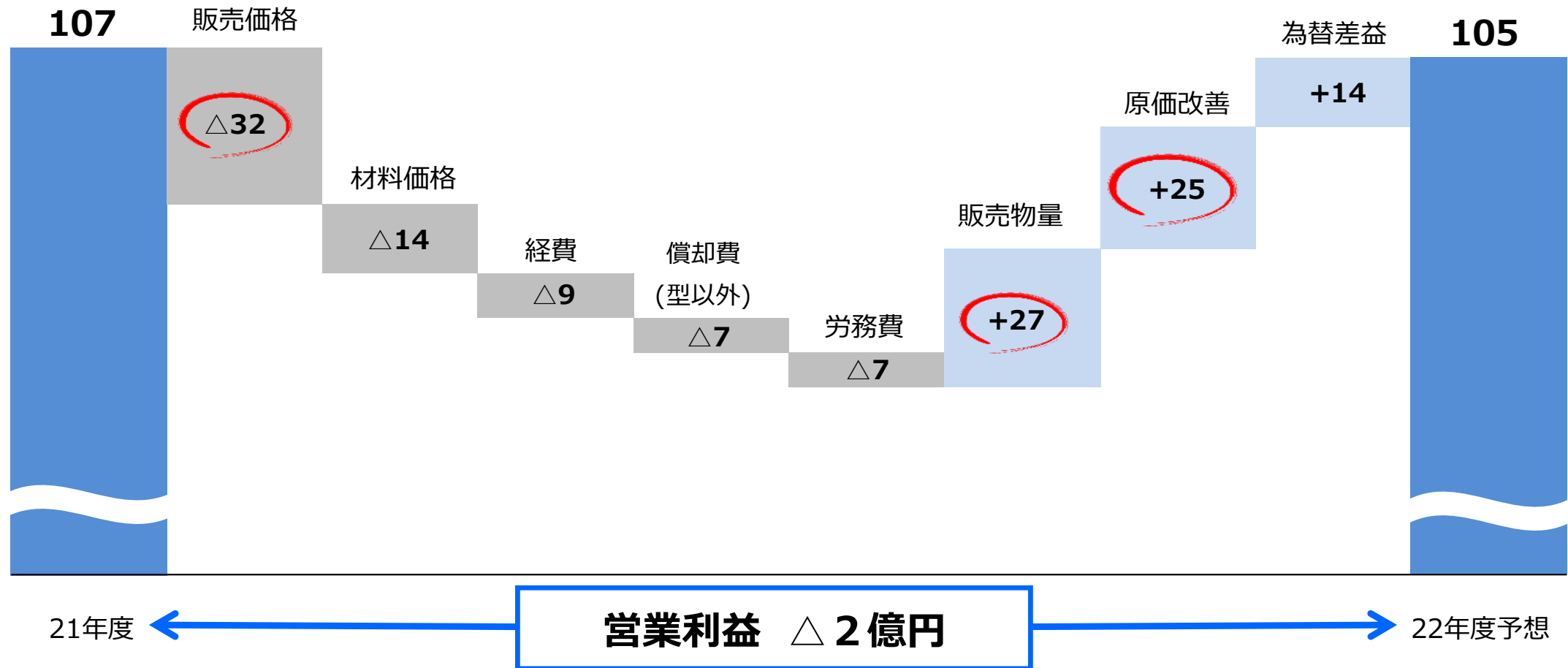
→ 22年度予想

2-3 通期 連結営業利益 増減要因



販売物量は回復するも材料価格高騰により減益見込み、継続的な収益改善に注力する

単位: 億円



2-4 通期 連結事業別セグメント



プレス・樹脂は増収増益、バルブは増収減益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	21年度 実績	22年度 予想	前期比		21年度 実績	22年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
プレス・樹脂	1,142	1,235	+92	+8.1	49	57	+7	+15.8
(プレス部材有償受給化影響)		※ (△97)						
営業利益率					4.3%	4.6%	+0.3P	
バルブ	499	542	+42	+8.4	58	48	△10	△17.7
営業利益率					11.7%	8.9%	△2.8P	

※2022年度第3四半期より、プレス部材有償受給化の増加により、97億円の売上減少を見込みます。利益への影響はありません。

2-5 通期 連結地域別セグメント



日本は減収減益、欧米、アジアは増収増益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	21年度 実績	22年度 予想	前期比		21年度 実績	22年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
日本	687	648	△39	△5.8	61	49	△12	△20.3
(プレス部材有償受給化影響)		※ (△97)						
営業利益率					8.9%	7.6%	△1.3P	
欧米	612	707	+94	+15.4	13	21	+7	+52.6
営業利益率					2.2%	3.0%	+0.8P	
アジア	344	425	+80	+23.4	31	33	+1	+4.2
営業利益率					9.2%	7.8%	△1.4P	

※2022年度第3四半期より、プレス部材有償受給化の増加により、97億円の売上減少を見込みます。利益への影響はありません。

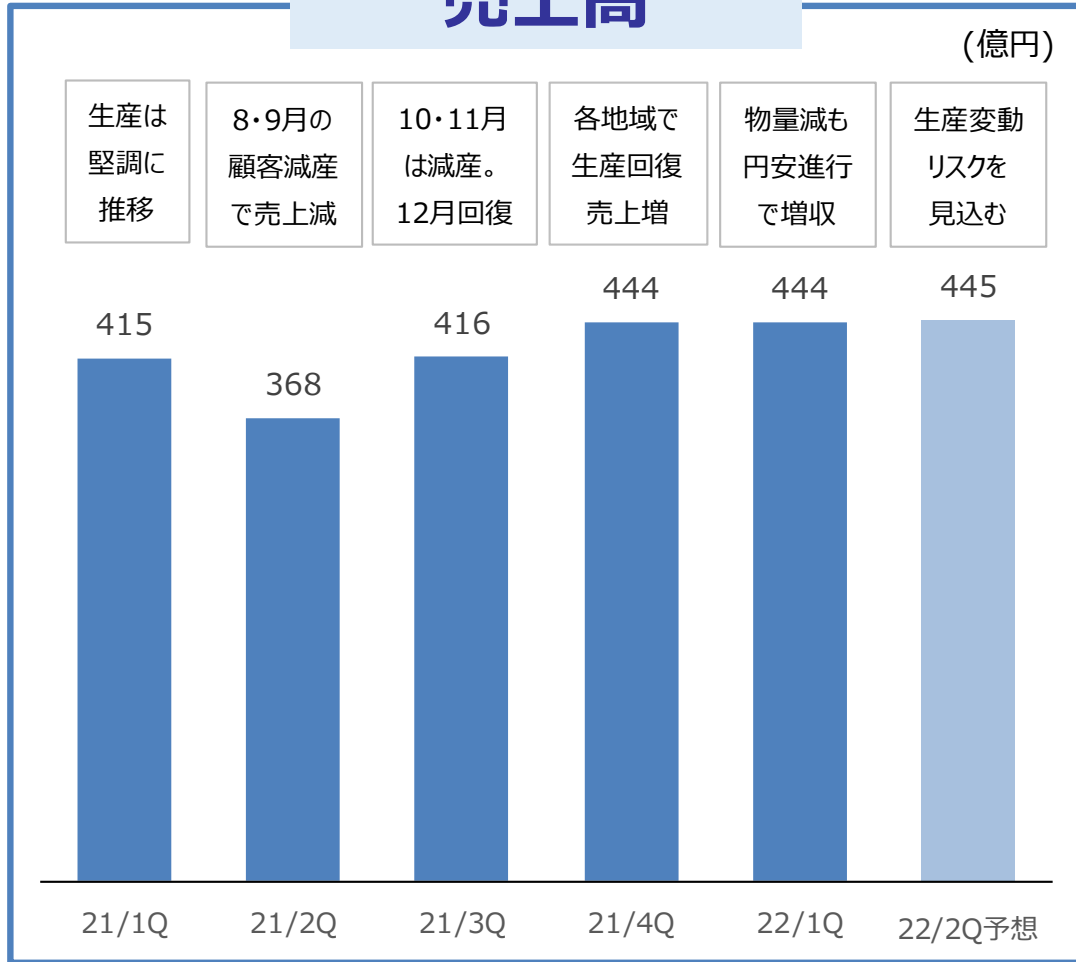
2-6 四半期別 連結業績推移



物量変動影響と材料高によるコスト増で収益性は低下、収益改善・ロス最小化を継続

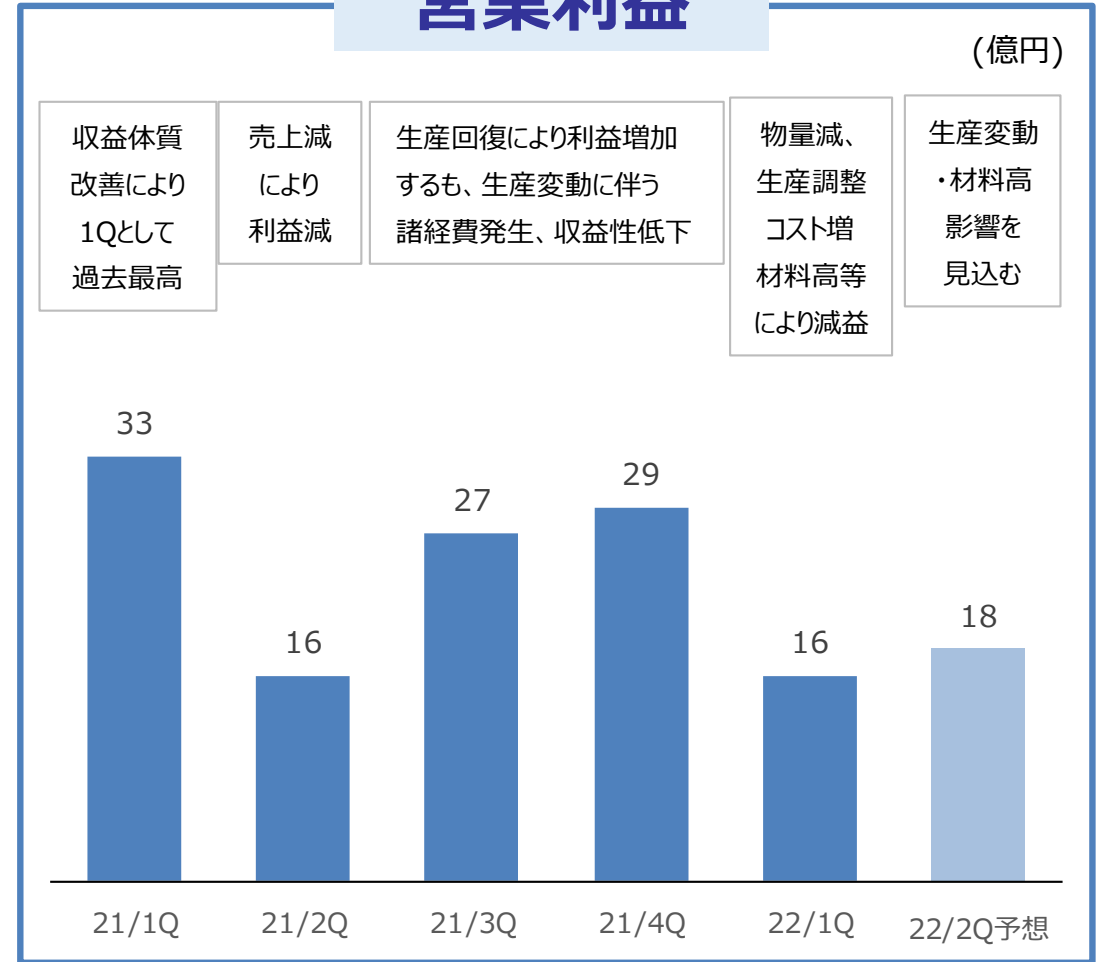
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



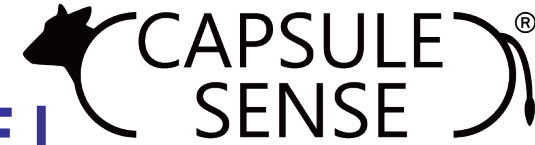
2-7 新製品トピックス



作業省力化と経営効率化で、牛の生育に貢献、牛農家の抱える課題を解決

2022年6月1日販売開始

牛体調モニタリング「CAPSULE SENSE」



牛畜産業界の
ニーズ、課題

- ▶ 省力化
 - ▶ 生産性向上
 - ▶ 疾病検知
- 1戸当たり飼養頭数増加、後継者不足
受胎率の低下による生産性低下
病傷事故等による経済損失

TPMSの
センシング技術、
ICTで解決

システム概要



当社製品の特長・強み

※動物用医療機器承認品

- 1個で多機能
- 牛のストレスフリー
- 高い検知能力
- AI解析
- メンテナンスフリー
- 監視負担軽減

1. 第1四半期業績
2. 2022年度通期予想
3. **今後の取組み**

■ 1Q実績

- ・半導体不足、上海ロックダウン影響等による生産変動
- ・経費等、コストコントロールにより利益確保

■ 通期予想

- ・9月以降、生産回復を想定
- ・半導体等、供給不足による生産変動懸念

■ 取組み

- ・生産回復に向けた体制準備、**増産効果の最大化**
- ・センシング技術を応用した**新製品を販売開始**
- ・既存事業と新規事業の**成長に向けた活動を継続**



思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow